

## 報告タイトル

「東南アジア地域研究研究所図書室に  
おける目録業務の現状と課題」

## 報告者

大野 美紀子

(京都大学 東南アジア地域研究研究所)



## 1. 東南アジア地域研究研究所図書室の概要

## 1-1. 蔵書構築ポリシーと蔵書構成

蔵書構築方針: 東南アジアとその周辺地域の資料収集

収集範囲: 「文理融合」を謳う研究所ポリシーに沿って人社系・理系も対象

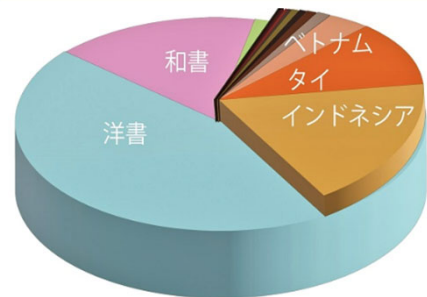
フィールドベース研究に応じて農学・生態学を積極的に収集

文学・芸術は少ない

\* アート・サブカル系要求(とくに、コミック)要求←スペースの制約上拒否しているが増加。

附置研図書館としての位置付けが蔵書構成に反映

→研究者主体の利用者要請に応え続ける必要がある





## 1-2.近年の傾向

### 1)「国語」資料→「非国語・＜少数民族＞言語」資料の収集重視

数年前:「国語」Burmese, Khmer, Lao→現在: Tetun

「非国語・＜少数民族＞言語」資料として、ミャンマー・タイ等少数民族言語資料、インドネシア・フィリピンにおいても地方諸語を積極的に収集

### 2)言語・地域別蔵書数の不均衡を是正中

インドネシア語・タイ語が突出→マレーシア・ラオス・カンボジア・フィリピンの収集を強化

### 3)分類体系の見直し

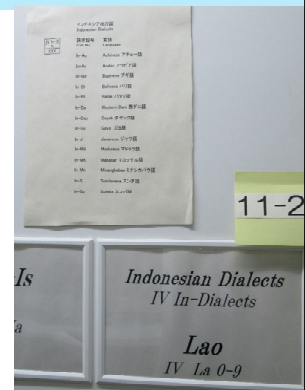
1965年開室当初から地域研究用独自分類を採用

うち、IV.言語分類の言語細分類を2007年言語コードに準拠した分類に変更

Thai:Th→Tha、Indonesia:In→Ind、Burmese:Bu→Bur

### 4)大型寄贈が相次ぐ

灰色文献が増加



## 1-3.東南アジア地域研究研究所図書室における目録業務の現状

### 目録業務担当者

- 1) 図書室スタッフ
- 2) 在学大学院生・研究員(OA・RA)
- 3) 個人のフリーランス業者

ASAFAS・阪大等の院生・PDや当該国出身者が業者登録し、在宅・出勤で書誌データ(txtファイル)を作成・納品  
支払いは、納品件数・データタイプ(新規作成・NCIDあり・prebook/MARC流用)の単価基準による。

### 4)Visiting Research Fellow

CSEAS Fellow枠で招へいた東南アジア諸国図書館のライブラリアン・図書館情報学研究者  
i.e.ラオス、ミャンマー、ベトナム、タイ、フィリピン、マレーシア、インドネシア

### 目録業務の流れ

現地語・翻字入力(2)・3)が、1)がNII目録フォーマットに修正し図書館データベースへ登録する分担方式

最近の取り組みとして、資料購入・目録データの同時納品

2021年クメール語・シヤン語

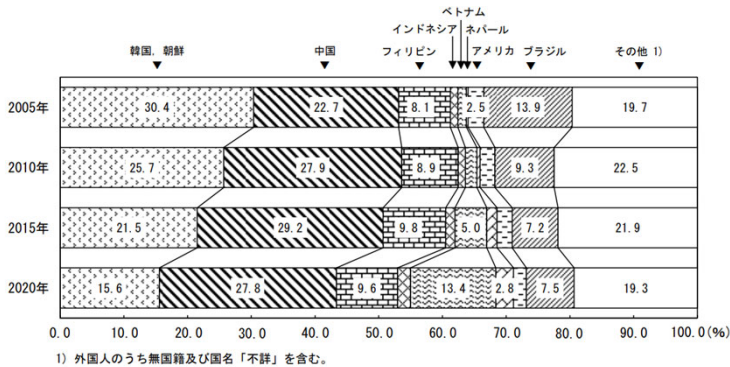
2022年Jawi資料

## 2. 問題提起：東南アジア諸言語資料は特殊言語資料か？

開催趣旨「中国語・朝鮮語を除くアジア諸言語の資料については、その言語の特殊性から書誌作成のスキルを有する人材は豊富とは言えず、安定的な人材育成やノウハウの共有・継承が長年の課題」

ー日本国内の図書館・司書制度が在日アジア人を取り込んでいない現状に起因する人材難ではないか？

図4 外国人人口に占める国籍別の割合の推移（2005年～2020年）



Access 2023/2/7 <https://www.moj.go.jp/isa/policies/statistics/index.html>

## 2. 問題提起：東南アジア諸言語資料は特殊言語資料か？

アジア諸言語資料＝「国語」＋「非国語 i.e. <少数民族> 言語」

ーアジア資料を「国語」と「非国語 i.e. <少数民族> 言語」に分別して対応する必要があるのでは？

「国語」資料：国家が資料情報が整備・発信している・しつつある i.e. Union Catalog, Worldcat

「非国語 i.e. <少数民族> 言語」：誰が資料情報を整備・発信するか？



### 3. 東南アジア地域研究研究所図書室における目録業務-事例報告-

図書館データベースOSの進化に比して、現実が追いつかない

- 1) 目録ルール策定
- 2) 既存翻字書誌への原綴追加修正

東南アジア諸言語における原綴と翻字の関係性が複雑であることが目録業務に影響している

LC-ALAで翻字ルールが未策定: Mon ← 翻字Proposal作成中 (by Patrick McCormik)

外来文字による国語表記: 独自のscriptを含む

Jawi等 アラビア文字表記によるマレー語 ← NLMに従ってE Jawiから1文字 (by Wan Ali)

漢喃 (Hán Nôm) 漢字・字喃文字によるベトナム語 ← 拼音・Quốc Ngữ併記 (by 矢野正隆・大野)

既存翻字書誌への原綴追加修正の負担増

インシデント例 (by 須鹿恵)

現状では、Current「国語」資料を処理しながら、1)・2)への対応を模索している



## インシデント!!

他館作製書誌に原綴を上書きしてしまった!!

令和4年度アジア情報関係機関懇談会

2023年2月10日 国立国会図書館関西館  
京都大学東南アジア地域研究研究所図書室  
須鹿恵



東南アジア地域研究研究所  
Center for Southeast Asian Studies Kyoto University

## ビルマ語書誌入力



東京外国語大学図書館作成の<BA72521206>を、当図書室作成の物と誤認し、原綴を追加

### ■TR:翻字に原綴を追加

TR:မြန်မာကျမ်းပြုပုဂ္ဂိုလ်များ နှင့် စာဆိုတော်ကြီးများ အတ္ထုပ္ပတ္တိပေါင်းချုပ် နှင့် ပြုစုသောစာပေများစာရင်း / လှသမိန် ; ဦးဖိုးလတ်။ Mrañ mā' kyām "pru pugguil myā' nhañ' cāchuito krī" myā' 'atthuppattipōñ' "khyup' nhañ' "prucuso cāpemyā' c ārañ'

### ■TRにビルマ文字原綴を追加したため、VT:VT:翻字に、VTを2件追加、元はVT:VTであった2件をVT:RMに修正

VT:VT:မြန် မာ ကျမ်း ပြု ပုဂ္ဂိုလ် များ နှင့် စာ ဆို တော် ကြီး များ အတ္ထုပ္ပတ္တိပေါင်း ချုပ် နှင့် ပြု စု သော စာ ပေ များ စာ ရင်း

VT:RM:Mrañ' mā' kyām' "pru pugguil' myā' nhañ'" cā chui to' krī" myā' 'atthuppatti poñ' "khyup' nhañ'" pru cu so cā pe myā" cā rañ'"

VT:RM:Myan mā kyān pyū poutko myā hnin sa hso daw gyī myā Athtoutpattī pāun gyout hnin pyū zū dhāw sa pei myā sa yīn

VT:RM:Myan má cān pyū pou'kou myā hnin sa hsou do jī myā A'htou'pa'tī pāun jou' hnin pyū zú dhō sa pei myā sa yīn

### ■PUB:翻字を原綴に書き換え

PUB:ရန်ကုန် : ပညာနှင့် ပုံနှိပ်တိုက် , 1955



東南アジア地域研究研究所  
Center for Southeast Asian Studies Kyoto University

## 書誌作成館へ連絡



東京外国語大学図書館目録担当者様へ、<BA72521206>への上書きについて連絡した所、

コーディングマニュアル21.1 B〔修正事項一覧〕

共通(4)にありますとおり、**翻字→原綴への修正は、**

**「修正可」**となっております。

ですので、当館作成書誌についても、翻字→原綴への修正を

行っていただいで全く問題ありません。

との返信を頂く。

### ●今後の対応

自館作成書誌か否か、確認を厳重にしてから作業

翻字で入力されている書誌の、原綴書誌を作成したら所蔵館へ連絡する